

静岡市景況調査

< 2026年5月調査結果概要 >

2026年6月

静岡市経済局商工部
産業政策課

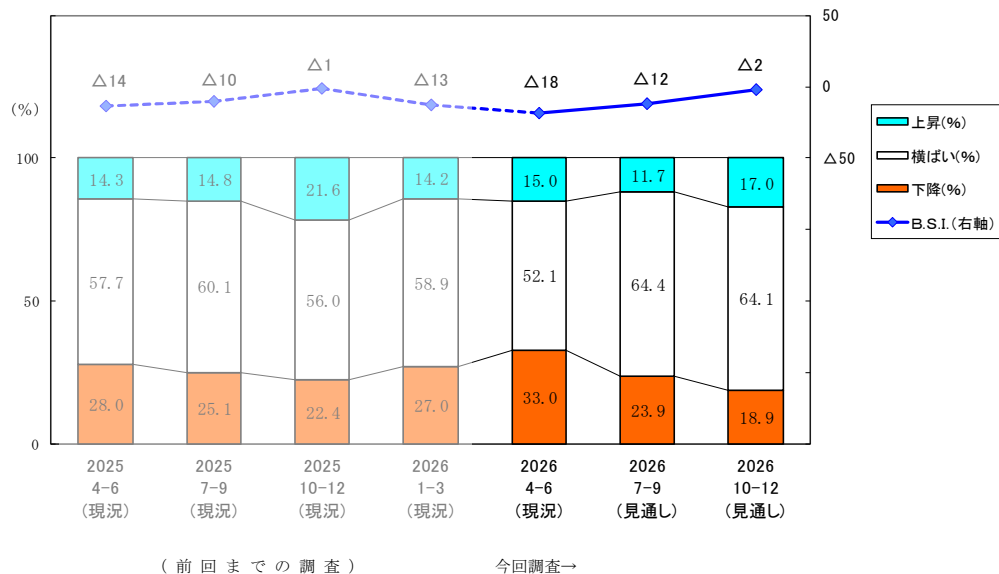
景気概況

静岡市内企業・事業所の現在（2026年4～6月）の景況判断をみると、B.S.I.は $\Delta 18$ と、前回調査（2026年1～3月： $\Delta 13$ ）から悪化し、「下降」判断となった。

業種別にみると、製造業（同： $\Delta 21 \rightarrow \Delta 12$ ）は改善、非製造業（同： $\Delta 9 \rightarrow \Delta 21$ ）は悪化し、ともに「下降」判断が続いた。

来期（2026年7～9月）についても、B.S.I.は $\Delta 12$ と改善するものの、引き続き下降判断、来々期（2026年10～12月）は $\Delta 2$ とさらに改善するものの、「下降」判断が続く見通し。

自社の景況判断



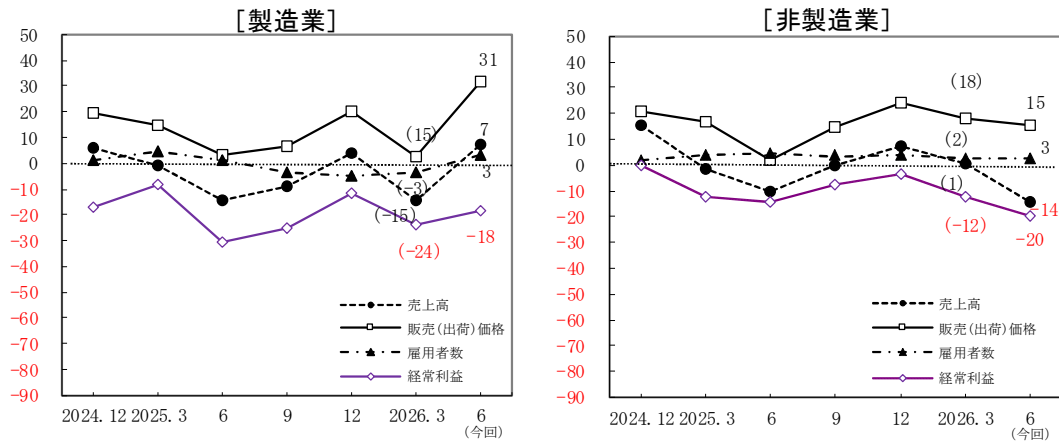
前期と比較した経営環境等の見通し

売上高が低迷する中、
原材料価格上昇分を転嫁できず、経常利益のマイナス幅は拡大

前期（2026年1～3月期）と比較した経営環境等の見通し

経営環境等		B. S. I.			全体		
		全体	製造業	非製造業	増加・上昇	横ばい	減少・下降
2026年 4～6月期の	売上高	△ 7	+ 7	△ 14	24.7	43.8	31.6
	販売数量	△ 17	△ 4	△ 24	18.6	45.4	36.1
	受注額	△ 10	+ 6	△ 18	21.8	45.9	32.2
	設備投資	△ 10	△ 11	△ 10	9.6	70.3	20.1
	金融機関借入	△ 7	△ 3	△ 9	10.6	71.7	17.7
	経常利益	△ 19	△ 18	△ 20	15.5	49.6	34.9
2026年6月末の	販売(出荷)価格	+ 21	+ 31	+ 15	34.7	51.4	13.8
	原材料(仕入)価格	+ 65	+ 77	+ 59	69.4	26.1	4.5
	製品(商品)在庫	△ 1	△ 6	+ 1	13.2	72.1	14.7
	雇用者数	+ 3	+ 3	+ 3	12.3	78.3	9.5

主要な項目別 B. S. I. の推移



本調査は、静岡市内における企業・事業所の景況感等の動向を把握し、適切かつ効果的な施策を推進するための基礎資料として活用することを目的とする。

調査対象：静岡市内に立地する企業・事業所 1,000 先

調査時期：2026 年 5 月

調査方法：郵送および Web によるアンケート調査

回答企業数：361 先（回答率：36.1%）

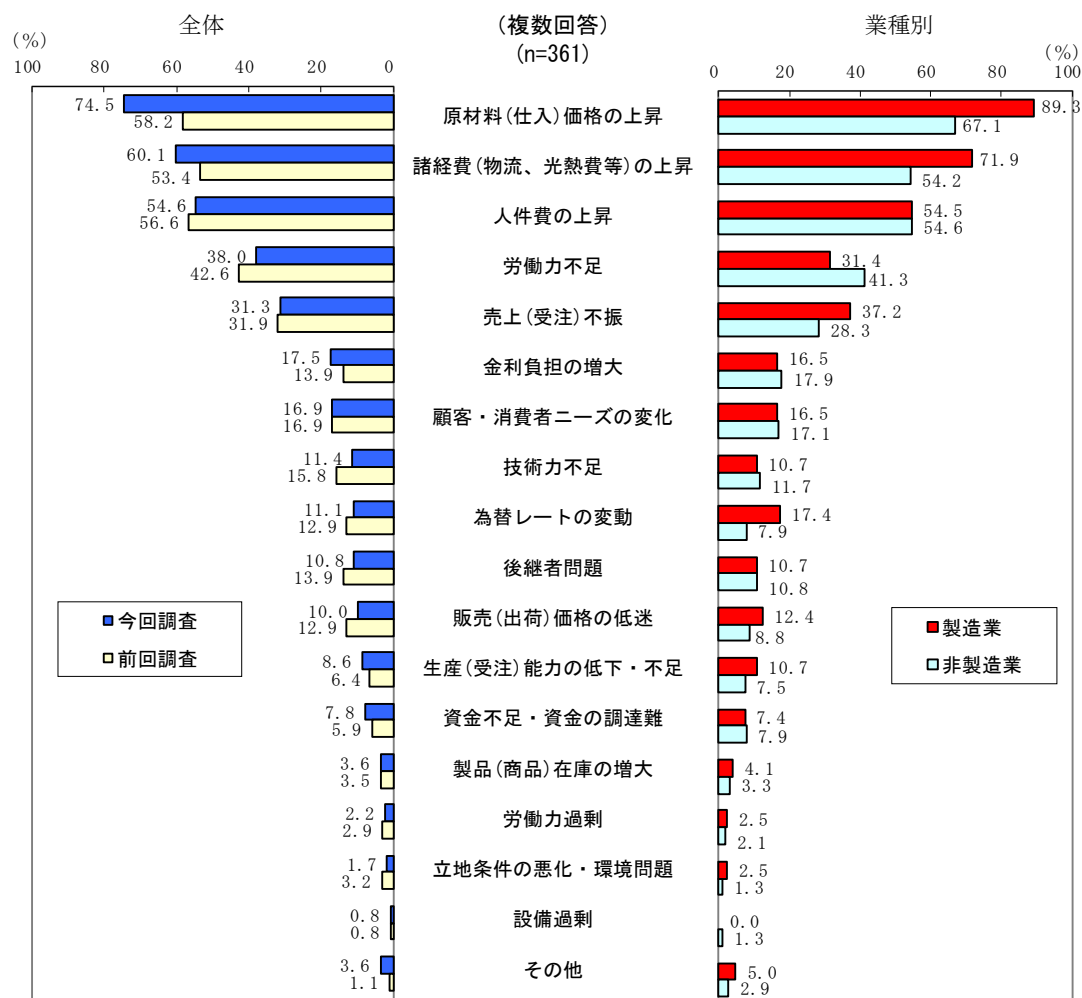
分析方法：B. S. I. による景況判断

注）B. S. I.（Business Survey Index）とは、企業経営者の景気見通しを判断する指数で、アンケート結果の「好転」と「悪化」の差を指数化したものである。プラスであれば、景気が上昇局面、マイナスであれば下降局面と判断している人が多いことを示す。全体が上昇とみれば B. S. I. は +100、全員が下降とみると B. S. I. は -100 になる。

経営上の問題点

原燃料価格、諸経費の上昇が大きな課題

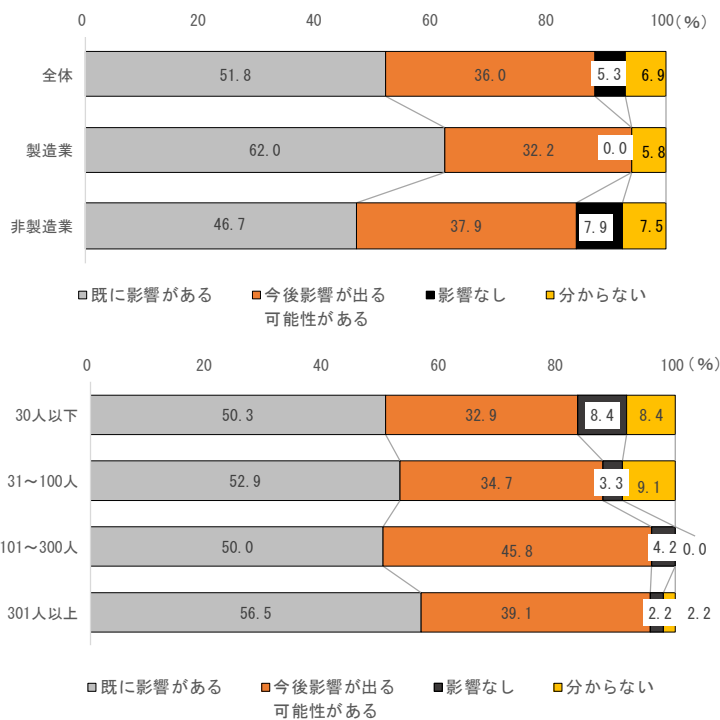
現在の経営上の問題点



中東情勢による影響

石油供給不足の影響は全体の9割近く、販売価格の改定等を懸念

中東情勢による石油供給不足の影響



石油供給不足による具体的な影響

